

生石地区まちづくり協議会

まちづくり計画



絵：特定非営利活動法人 アトリエ素心居

目 次

- 1 はじめに
- 2 生石地区の歩み
- 3 まちづくり協議会設立の経緯
- 4 まちづくり計画について
- 5 まちづくり基本目標／方針／計画
- 6 まちづくり基本計画と取組

資料

- ・ 住民アンケート結果
- ・ 規約
- ・ 組織図

1 はじめに



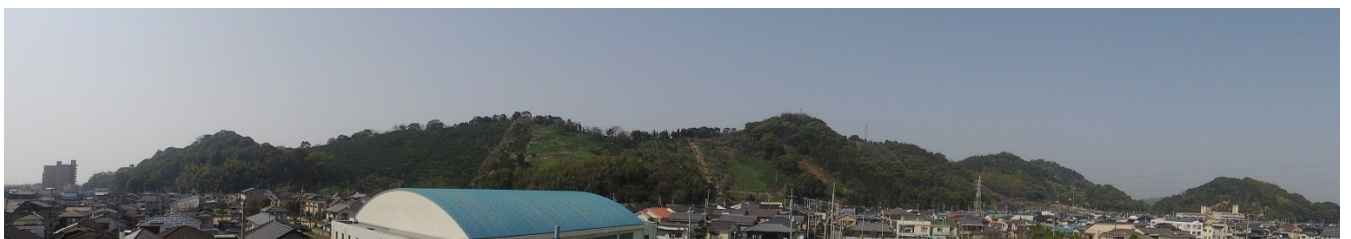
生石地区に住む一人ひとりが、郷土を誇りに思い、安心して心豊かに住み続けられる、暮らしやすいまちにしていけるためには、互いに助け合う仕組みが必要です。

そのため、平成26年4月に生石地区まちづくり協議会を設立し、地域のさまざまな団体・組織や企業、行政等が連携しながらまちづくりを進めていく体制が整いました。協議会を設立する大きな動機となった東日本大震災の際にも、住民が互いに助け合う‘つながりの力’が再認識されたところですが、常日頃からつながりを持っていなければ、いざという時、難を乗り切ることはできないと考えています。防災面だけでなく、防犯・福祉・教育・環境なども同様です。

では、つながりを持ち、理想のまちを実現するためには、どのように進めていくのが良いのかを話し合い、今後の方針や目標を定めなければなりません。それを定めたものが『まちづくり計画』です。この計画は、これまでの勉強会や住民アンケート調査、また、各部会でのワークショップなど、たくさんの方々に関わっていただきながら策定されましたので、生石地区に住む皆さんや企業等が共有し、同じ思いでまちづくりを進めていきたいと考えています。地域には魅力も課題も多くありますが、どれも一人の力や一つの団体・組織だけで取り組むことには限界があります。今こそ、「私たちのまちは、私たちの手で」という意識のもと団結しましょう。

最後に、まちづくり計画策定に関わっていただきました皆様にお礼を申し上げますとともに、これからは『まちづくり計画』の実現を目指し、生石地区の団体・組織や企業等が一体となり、楽しいことも苦しいことも共に分かち合える関係を築いていきたいと考えていますので、より一層のご協力をお願い申し上げます。

生石地区まちづくり協議会
会長 福山 勝幸



2 生石地区の歩み

島嶼部を除くと、生石地区は松山市の最西部に位置し、海岸に近いので冬暖かく、山と適度に開けた土地もあります。こうした環境が古代人に歓迎されたことは、弁天山麓などの遺跡出土品が証明します。中世に垣生氏、忽那氏など領主の入れ替わりや戦乱があっても、それは人々が土地を離れる決定要因とはならなかったのでしょう。

現在の5町の名は古く、江戸初期の「伊予国知行高郷村数帳」にも「北吉田村 474 石、南吉田村 823 石、高岡村 1250 石、窪田村（明治期に久保田） 343 石、富久村 478 石」と記されています。住民は川の付け替え後の水利に苦労しつつ、鴨付・雁付の地名があった御鷹場で城主の狩りを見物していたかもしれません。明治に入り5村は合併し氏神の生石八幡神社に因んで生石村が誕生しました。

地区は、第二次大戦前後に時代の波に洗われました。松山第22連隊射撃場建設、海軍航空隊基地と滑走路建設、道路敷設で移住を強いられた住民もいます。昭和19年に松山市に編入。終戦前の激しい空襲で多数の犠牲者が出たことも忘れてはなりません。

平和が戻ると人も戻ってきました。南吉田松山市営団地90戸、授産場・母子寮・保育園が作られました。航空隊基地跡には大阪曹達、帝国人絹が進出し、大可賀の昭和工業、丸善石油とともに臨海工業地帯を形成したのです。かつての白砂青松の海岸は工場用地、港湾に姿を変えましたが、そこに働く人で地区は活気にあふれ、子どもたちの歓声が響きました。軍用機が離発着した飛行場は、YS11機墜落の悲劇をはさみ、滑走路延長で愛媛の空の玄関へと成長しました。

地区内には由緒ある神社・寺院があり、それぞれに住民の心の拠り所、憩いの場となっています。ユニークな伝説を持つ天狗面、長屋門、松並木、先人顕彰碑もあります。そして変わらぬ緑の山と青い瀬戸内海。歴史的・文化的遺産を守りつつ、活性化への挑戦は怠らない。そんな「まちづくり」が始まっています。



天狗面



履脱天満宮

3 まちづくり協議会設立の経緯

現状と課題

少子高齢化、地域経済の弱体化、担い手不足、地域コミュニティの希薄化など、私たちがこれから迎えようとしている社会には、多くの課題が立ちはだかっています。

生石地区では、これまで多くの地域団体がコミュニティを支え、さまざまな取り組みを通じて課題に対応してきました。

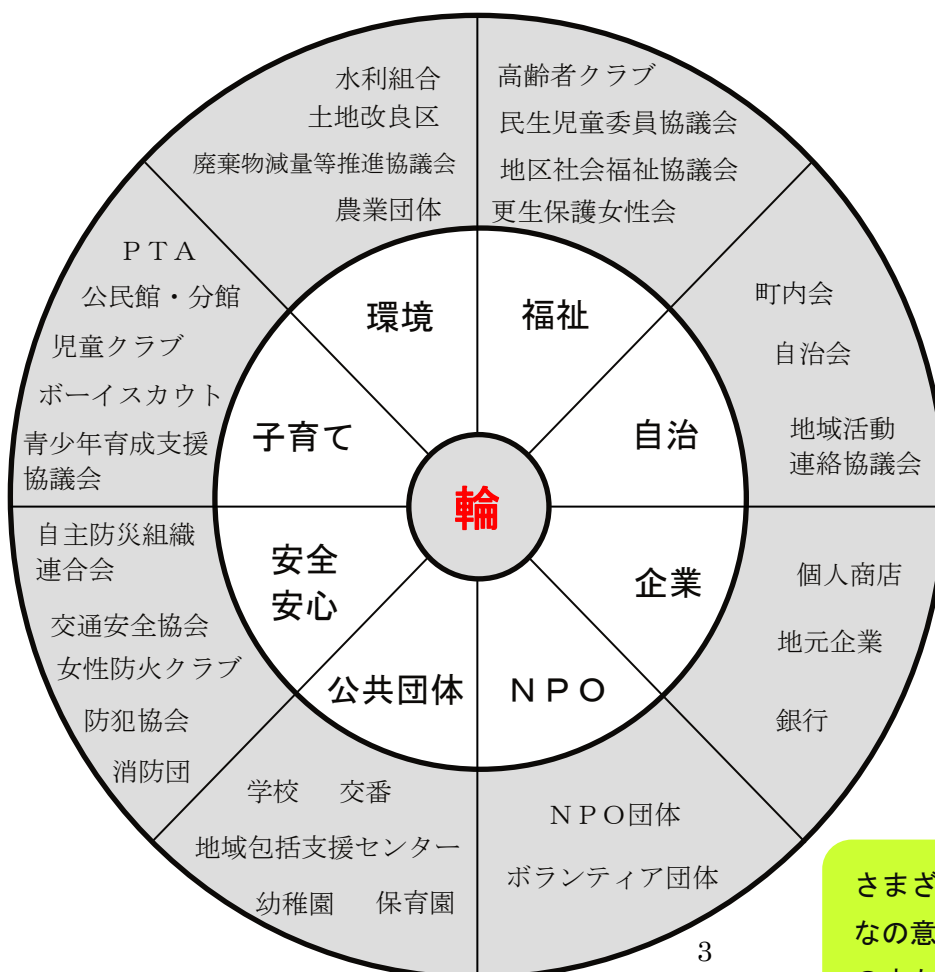
しかし、生石地区にも多くの地域課題があり、その範囲も、防災、福祉、環境、教育など多岐にわたります。これらの課題に対し、どう向き合っていくかを考えたとき、1人の住民や1つの団体だけで解決することは困難です。

そこで、私たちのまちのため、生石に住む私たち自身が一人ひとりの力を結集し、一丸となって向き合っていく必要があります。

まちづくり協議会とは

「地域におけるまちづくり」は、生活の基盤や歴史・文化を共有する、概ね公民館本館の区域において、住民がお互いの合意形成を図り、住んでいる地域の暮らしやすさの向上や地域活力の増進等を目的として行う活動です。

そして、地域のまちづくり活動を行う、多くの地域団体がつながり、住民自治組織として、課題解決や魅力の創出について協議する会のことを『まちづくり協議会』と言います。



左の図のように、多くの地域団体が構成されるゆるやかなネットワーク型の住民自治組織です。

生石地区では、およそ60団体が構成されています。

●期待される機能として

つながる

×

まとめる

×

ならでは

=

さまざまな地域団体がつながり、みんなの意見をまとめ、生石地区ならではのまちづくりを進めていきます。

まちづくり協議会の設立動機

生石地区において、まちづくり協議会を設立する大きな動機となったのは東日本大震災です。「住民の命を守ること」を大きな課題と位置付け、課題解決のためには地域のさまざまな団体や個人が、連携・協働した取り組みや協議を通じて、一丸となる必要があると考えました。

また、防災面以外にも、福祉、教育、環境など、多方面で地域団体がつながることで、地域のさまざまな課題解決やさらなる魅力を創出すると信じ、設立に向けて立ち上がりました。

設立までのあゆみ

平成24年9月27日	第1回「生石地区のまちづくりを考える会」 ※有志により、計6回開催
平成25年3月27日	生石地区まちづくり協議会準備会を設立
4月5日	第1回役員会（協議会設立まで計19回開催）
4月22日	第1回学習会「まちづくりは宝探し」
5月12日	第2回学習会「垣生山視察登山」
6月3日	第3回学習会「里山ってなあに」
7月10日	住民アンケート実施 対象：住民1,000名・小中学生
8月31日	第4回学習会「垣生山を今に生かす」
9月26日	生石まちづくり通信Vol.1 発行
10月19日	垣生山整備開始（以後、第2・第4土曜日に開催）
10月23日	第5回学習会「まちづくりはひとづくり」
11月27日	第6回学習会「淡路ヶ峠の桜植樹でまちおこし」
平成26年1月6日	生石まちづくり通信Vol.2 発行
1月22日	臨時総会を開催（規約・構成団体・組織図等の仮承認）
2月2日	さくら植樹式（垣生山にて陽光桜6本植樹）
2月3日	規約縦覧（2月17日までの間）
3月7日	さくら植樹（垣生山にて陽光桜24本植樹）
4月12日	生石地区まちづくり協議会を設立 ※その他、県・市主催の学習会や会議等に参加



さくら植樹式



設立総会

4 まちづくり計画について

まちづくり計画とは

まちづくり協議会が地区の現状を踏まえ、地域資産（歴史的、文化的、人的資産等）の活用や地域課題の解決に向けた取組みのほか、行政との協働に関する取組み等を示す中長期計画のことを言います。

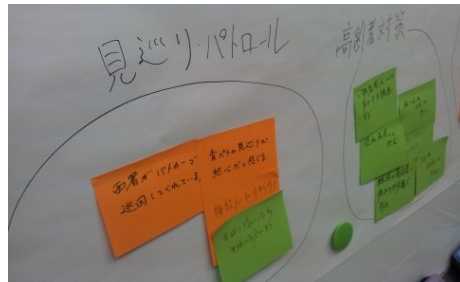
計画策定の意義

まちづくりの目標をみんなが共有し、その実現に向け取組むことは、まちづくりへの動機付けとなり、「自分たちのまちは自分たちの手で」という自治意識の向上や地域への愛着を育みます。

計画策定までの流れ

基本計画は、各部会が中心となり、それぞれの部の目的に沿った話し合いを重ねてきました。下の写真のようにワークショップ形式で、現状を共有し、良いところ、悪いところや、今後はこうしていきたいなど、意見を出し合いまとめています。

役員会では、各部がまとめた計画案の調整や、最終的な表現の統一などを行いました。



ワークショップ

計画の期間

この計画の有効期間は、平成27年度から10年間とします。それまでの間、計画の見直しが必要な場合は、総会で議決を受ければ見直すことができます。

基本計画は、取り組みをはじめる期間の目安を、短期（1～3年）、中期（4～6年）、長期（7～10年）としています。

取り組みの担当

これからのまちづくりは、自助・共助・公助の役割分担に基づき、進めていかねばなりません。そこで、この計画では、住民（住民だけで取り組む）、協働（住民と行政が連携して取り組む）、行政（行政が取り組む）という担当を明記しています。

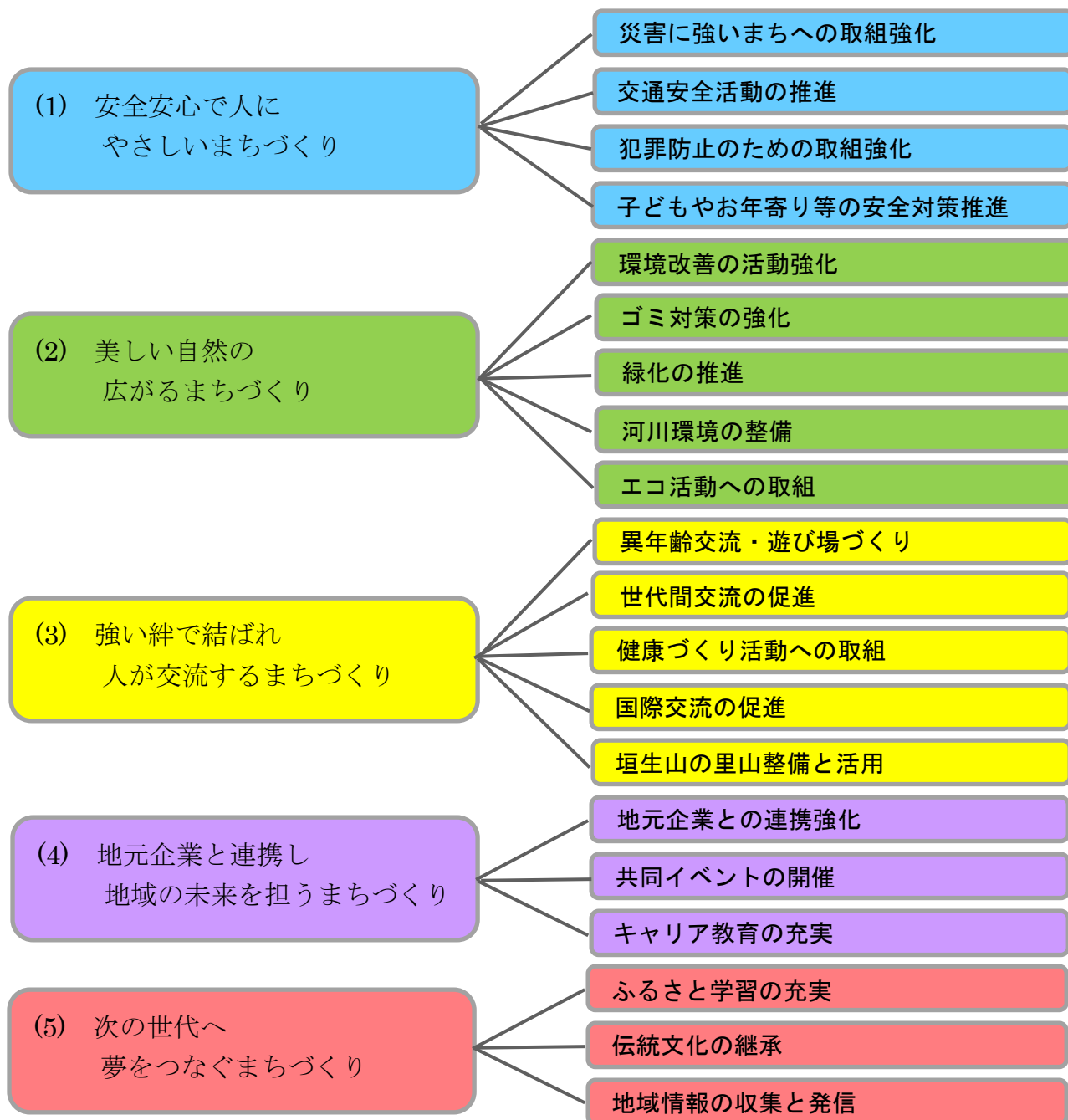
5 まちづくり基本目標／方針／計画

基本目標

みんなで力を合わせて、子どもからお年寄りまで、安全・安心で、快適な暮らしができ、誰もが住んで良かったと実感できる生石地区をめざし、将来に引き継いでいきます。

基本方針

重点目標



6 まちづくり基本計画と取組

(1) 安全安心で人にやさしいまちづくり	誰もが暮らしやすいまちは、安全安心が根幹にあり、互いに助け合う姿勢が求められています。	短期 1～3年	中期 4～6年	長期 7～10年	担当
	災害に強いまちへの取組強化				
	防災訓練の充実	****			協働
	防災・救命に関する講習の実施	****			協働
	災害対策の強化	****	****		協働
	災害時の情報伝達力の強化	****			住民
	災害時の連携体制強化	****			住民
	河川・水路等の安全対策	****	****	****	協働
	交通安全活動の推進				
	安全・安心な交通環境の整備	****			協働
	交通危険箇所調査・対策	****			協働
	交通安全に関する講習・啓発活動の強化	****			協働
	交通安全マップの作成	****	****		協働
	警察及び関係団体との連携強化	****	****		協働
	犯罪防止のための取組強化				
	防犯環境の整備	****			協働
	防犯パトロールの強化	****			住民
	防犯講習等の啓発強化	****			協働
	防犯情報力の強化	****	****		協働
	防犯組織力の向上	****			協働
	子どもやお年寄り等の安全対策推進				
	子ども見守り強化	****			住民
	まもるくんの家普及	****			協働
	通学路の安全点検	****			協働
	高齢者や障がい者の自立支援、見守り強化	****	****	****	協働

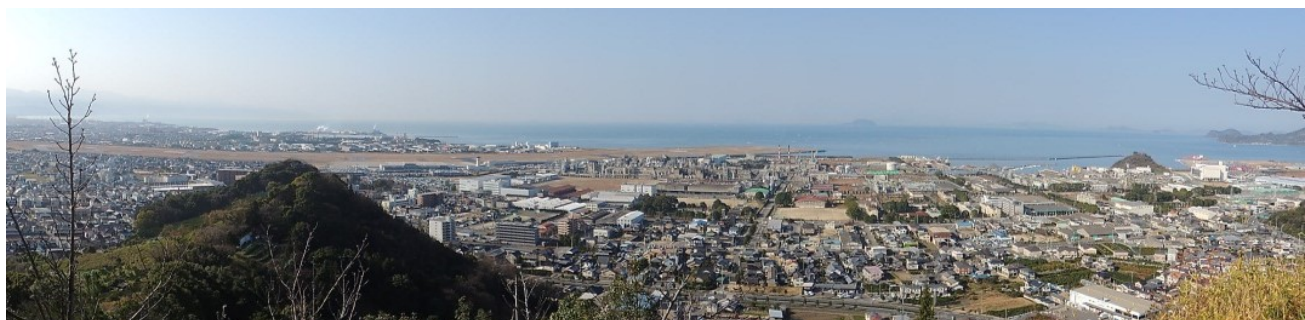
(2) 美しい自然の 広がるまちづくり	誰もが環境課題について考え、環境改善に向けた取組など、美しい自然を守る姿勢が求められています。	短期	中期	長期	担当
		1～3 年	4～6 年	7～10 年	
	環境改善の活動強化				
	小中学生と住民との合同清掃	*****	*****		住民
	市・県・国道沿いの雑草除去	*****			行政
	ペットの飼育マナーの向上	*****			住民
	環境学習会の開催	*****	*****		協働
	バリアフリーへの取組の推進	*****	*****	*****	行政
	おいしい空気の維持管理	*****	*****	*****	行政
	ゴミ対策の強化				
	ゴミ出しルール of 周知啓発	*****			協働
	ゴミ出しステーションの美化	*****			住民
	ゴミ問題への意識やモラルの醸成	*****	*****	*****	協働
	不法投棄の根絶	*****	*****	*****	協働
	緑化の推進				
	花壇の整備	*****			協働
	花の栽培教室の開催	*****	*****		協働
	公園管理者との協力	*****			協働
	街路樹の育成保全と管理	*****	*****		行政
	「土と遊ぼう」運動の展開	*****	*****	*****	住民
	河川環境の整備				
	河川の美化清掃活動	*****			協働
	「水と遊ぼう」運動の展開	*****	*****	*****	住民
	ホタルの飛び交う川づくり	*****	*****	*****	住民
	エコ活動への取組				
	エコ活動意識の向上	*****	*****		協働
	エコクッキング講習会の開催	*****	*****	*****	住民
	緑のカーテンの推進	*****			住民

(3) 強い絆で結ばれ人が交流するまちづくり	人とのつながりを強めるため、世代を超え、誰もが健康で交流することが求められています。	短期	中期	長期	担当
		1～3 年	4～6 年	7～10 年	
	異年齢交流・遊び場づくり				
	スポーツ交流のできる広場づくり	*****	*****	*****	協働
	三世代による花いっぱい運動	*****	*****		住民
	三世代によるゴミ 0 作戦	*****	*****		住民
	世代間交流の促進				
	挨拶や声掛け運動の実施	*****			住民
	ものづくり教室の開催	*****			住民
	朝のラジオ体操の奨励	*****			住民
	季節行事の開催	*****			住民
	若手リーダーの育成	*****	*****		住民
	ボランティアグループの活用	*****			住民
	健康づくり活動への取組				
	健康まち歩きイベントの開催	*****			住民
	文化芸能活動の推進	*****	*****		住民
	スポーツ、レクリエーション大会の開催	*****	*****		住民
	健康、福祉講座の開催	*****	*****	*****	協働
	国際交流の促進				
	外国人との交流促進	*****			協働
	垣生山の里山整備と活用				
	桜の植樹・里山への整備	*****	*****	*****	住民
	登山道の整備	*****	*****		協働
	健康保養・情操教育の場としての活用	*****	*****	*****	住民
	防災機能の強化	*****	*****	*****	協働

(4) 地元企業と連携し地域の未来を担うまちづくり	豊かな地域を創造するため、住民だけでなく、同じ地域に根をはる企業との連携が求められています。	短期 1～3 年	中期 4～6 年	長期 7～10 年	担当
	地元企業との連携強化				
	地域と地元企業が連携する防災訓練の実施	****			協働
	地元企業へ地域情報の提供	****			住民
	災害時の物資や避難場所の提供	****	****	****	協働
	共同イベントの開催				
	松山空港開催イベントの共同参画	****			住民
	地元企業との協働キャンペーン活動	****			住民
	地域行事の共同開催	****	****	****	住民
	地方祭への参加協力	****	****		住民
	キャリア教育の充実				
	地元企業の説明会	****	****		協働
	地元企業への見学会	****	****		協働
	地元企業への職場体験学習	****	****		協働



(5 次 の 世 代 へ 夢 を つ な ぐ ま ち づ く り	地域を知ること、また伝統文化を継承して次世代へつな ぐことが求められています。	短期	中期	長期	担当
		1～3 年	4～6 年	7～10 年	
	ふるさと学習の充実				
	史跡めぐりの開催	****			住民
	ふるさとマップづくり	****			住民
	垣生山学習会	****	****		住民
	伝統文化の継承				
	歴史や文化講座の実施	****	****		協働
	お祭りや伝統行事の調査と継承	****	****		住民
	郷土料理の研究とその講習会	****			住民
	地域情報の収集と発信				
	生石まちづくり通信の充実	****	****	****	住民
	情報収集システムの構築とその発信	****	****		住民
	まちづくり協議会ホームページの開設	****	****		住民

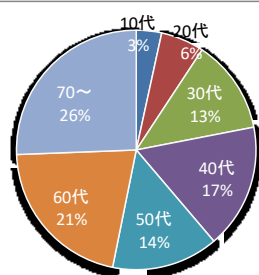


資料 住民アンケート結果

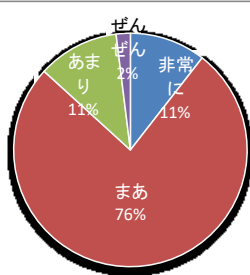
平成 25 年 7 月、16 歳以上の生石地区住民 1,000 人（性別・年齢層別無作為抽出）と、小学 5 年生（生石・さくら）と西中学校 2 年生を対象に、アンケート調査を実施。※16 歳以上（回収率 41%）。

16 歳以上

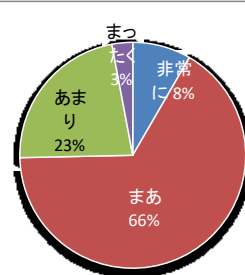
年代



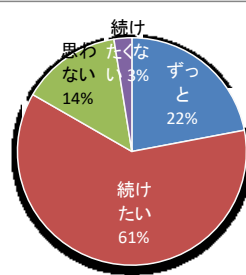
生石に満足していますか？



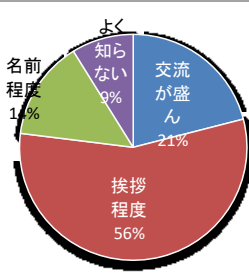
生石に愛着を感じますか？



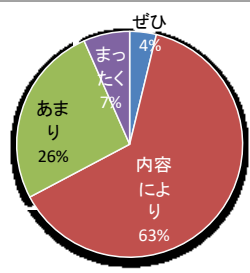
生石に暮らし続けたいですか？



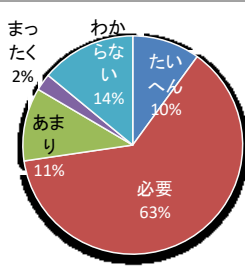
近所づきあいの程度



地域行事への参加意欲



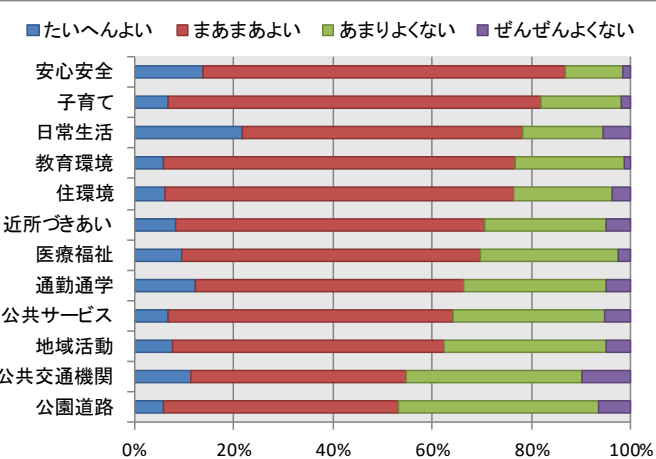
公民館・町内会の必要性



参加したことがある地域行事

市民大清掃	200
地方祭	190
盆踊り	156
運動会	145
町内会・自治会の総会	129
子ども会行事	100
水路掃除	100
体育行事	89
文化行事	79
消防・防災訓練	74

地域の現状をどう思うか？



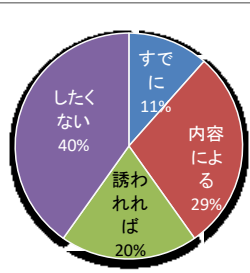
【自由記述意見(抜粋)】

- ◆高齢者と若者が連携できるまちづくりを
- ◆みんなの町ですから町内全員が参加したい
- ◆老後、買物や出かける際の公共の乗り物が少ない
- ◆保守的な環境を感じる。すべての人の和やかな関係を
- ◆アンケート結果の公開で皆が関心を持ち、考える
- ◆若手の参加がなさすぎる
- ◆地域住民の活動でよりよいまちになれば
- ◆子どもが安全でのびのび育つ地域であってほしい
- ◆生石で生まれ、育ち、親になったことが嬉しい
- ◆地震津波の避難場所として垣生山が最適
- ◆子どもたちをみんなで守れるまちにしたい
- ◆まちづくりの内容がよくわからない
- ◆できることからかかわっていききたい
- ◆寝たきりです。忘れないでください
- ◆回覧板に意見を書くところがほしい、目安箱
- ◆隣近所の挨拶から地域づくりをしたい

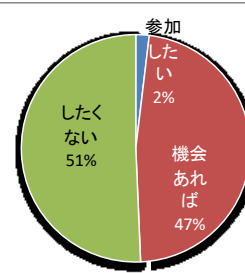
まち協に期待するもの

安心安全	241
環境整備	206
住民の連帯	120
課題解決	108
行政とのパイプ役	94
コミュニティの充実	88
意見集約	54
人材育成	36
郷土愛の醸成	34
何も期待しない	21

まちづくり活動への参加



まち協への参加



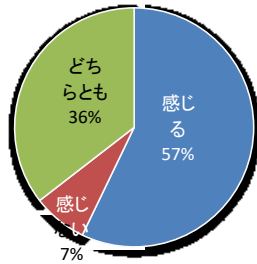
まち協メンバーの選び方

公募	177
既存団体の役員	172
区長・自治会長の推薦	136
学識経験者	97
その他	22

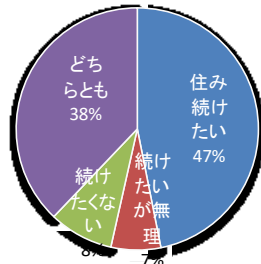
○やる気・実行力のある人
○年代・職種など多様な人
○中・高・大学生・若い人からも
○本音で語れる・正義感・公平な人
○既存の役員以外から

小・中学生

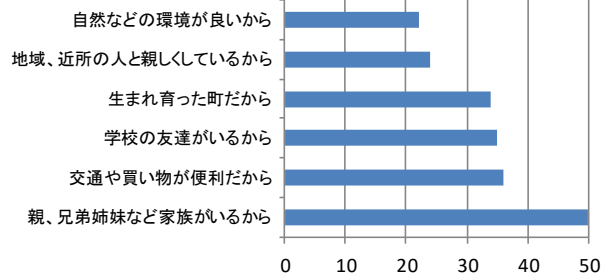
町に愛着を感じますか？



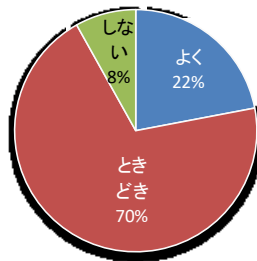
将来も住みたいか



住みたい理由



地域行事への参加



どんなまちになればいいと思うか

	1番	2,3番	合計
安心安全なまち	79	68	147
環境を大切にすまち	39	87	126
交通が便利なまち	33	51	84
助け合いのまち	21	47	68
子どもがのびのび遊べる	20	80	100
ふれあいのまち	17	47	64
観光交流のまち	12	17	29
スポーツのまち	10	30	40
人づくりのまち	7	21	28

【自分のまちの誇りに思うこと】

- 祭りなど地域の活動が盛ん
- 地域の人が優しい・親切
- あいさつを返してくれる
- 登下校の見守り
- 子ども会の活動
- 垣生山があつて自然が多い
- 垣生山からの景色
- スーパー・コンビニなどが近い
- 空港がある
- 天狗の面
- 履脱天満宮
- 掩体壕
- など

【まちづくりのアイデア】

- ボール遊びができる場所（意見多数）
- 仲よくする
- 木を植える
- 困っている人を助ける
- ボランティアの機会を増やす
- あいさつをする（運動）
- 周りの人に気を配る
- 不審者をなくす

- 防災訓練
- 世代交流
- 親切なまちづくり
- ルールを守る
- 芝生の広場
- 防犯パトロール
- 地域と学校の交流
- 歴史や文化を伝える

- 歩道の確保
- ゴミを無くす・ゴミ拾い
- ポスターの掲示
- スポーツ大会
- 空港まで電車を通す
- ショッピングセンター

など

【その他意見】

- 弱い人でも住めるまちづくりを
- 大好きだから住みたい

